

山梨県国民健康保険団体連合会理事会議事録

山梨県国民健康保険団体連合会

1 開催日時

令和2年12月25日（金）午前10時30分～11時50分

2 開催場所

山梨県甲府市蓬沢1-15-35
山梨県自治会館 講堂

3 出席者

理事長	久保 眞 一	
副理事長	山下 政 樹	船 木 直 美
常務理事	佐藤 佳 臣	
理 事	小島 良 一	小林 信 保 (欠)
	上村 英 司 (代)	江口 英 雄 (代)
	辻 一 幸	渡 辺 喜久男
	今井 立 史 (代)	
監 事	田中 久 雄	岡 部 岳 志
	堤 マサエ	

4 理事会の議事の経過の要領及びその結果

(1) 理事総数11名のうち7名が当日の理事会へ出席し、4名が規約第31条の規定に基づき、書面により理事会の議事に加わり、理事会は有効に開催された。

(2) 理事長挨拶

- ・はじめに、「新型コロナウイルス感染症について」でございます。所謂、第3波と呼ばれる感染者数の拡大は、これまで以上に、私達の日常生活や経済活動に大きな影響を与えており、特に、医療や介護の影響が極めて深刻な状況で、大変心配されるところでございます。日々、その最前線で業務に携わっている関係者の方々のご努力に対しまして、改めて感謝を申し上げたいと存じます。今後も、国や各自治体をはじめ、関係者が、更に協力し合って、感染防止に努めていく必要性を痛感するとともに、1日も早い収束を願うところでございます。
- ・こうした中で、当連合会におきましても、国が行う「新型コロナウイルス感染症対策事業」として、ひとつ『医療機関等への資金繰り対策とした診療報酬等の概算前払い』、ふたつ『医療機関や介護事業所の従業者への慰労金・支援金の交付』などに係る業務の一部を担ってきたところであります。
- ・今後も、連合会の果たすべき役割を十分に認識し、「新型コロナ時代」に対応すべく、職員一丸となって保険者等の業務支援に努めて参る所存であります。
- ・次に、「全世代型 社会保障 検討会議について」であります。
ご案内のとおり、現在75歳以上の後期高齢者の人口が増加する一方で、現役世代の人口が減少しており、今後、人生100年時代を迎え、ライフスタイルが多様化する中で、誰もが安心できる社会保障制度の構築が不可欠であります。2020年度における、現役世代の後期高齢者への支援金は6.8兆円で、一人あたりに換算すると6.3万円となり、2022年には、団塊の世代が後期高齢者となる中で、現役世代の負担に歯止めをかけることが重要課題となっております。国の「全世代型社会保障検討会議」では、医療の必要性が高く、主に年金収入で生活している所得の低い後期高齢者や、一定以上の所得がある後期高齢者の

負担能力に応じた窓口負担の基準について議論がされ、最終報告が取りまとめられたところであります。

- ・ 今後は、このコロナ禍における医療や健康への影響をはじめ、経済の動向を踏まえつつ、国民の誰もが納得する制度となるよう十分な議論を期待するところでございます。
- ・ さて、本日ご審議をお願いする主な内容は、当連合会の明年度の事業並びに予算の基本的な考え方等でございます。
皆様の忌憚のないご意見をお願いするとともに、更なるご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。今日はよろしくようお願い申し上げますと挨拶があった。

(3) 本会規約第 29 条の規定に基づき、理事長が議長となり議事を開始した。

(4) 本会規約第 34 条第 2 項の規定により、理事 2 名（辻理事、渡辺理事）が、議事録署名理事に選任された。

(5) 議案及びその審議状況は次のとおり。

①議案

- ・ 議第 1 号 令和 2 年度山梨県国民健康保険団体連合会支払資金貸付特別会計歳入歳出予算補正（第 2 号）について
- ・ 議第 2 号 令和 3 年度山梨県国民健康保険団体連合会の事業の基本的な考え方について
- ・ 議第 3 号 令和 3 年度山梨県国民健康保険団体連合会の予算の基本的な考え方について
- ・ 議題 4 号 山梨県国民健康保険団体連合会一般会計歳入歳出予算補正（第 1 号）について

②審議の状況

- ・ 議第 1 号
議第 1 号について、事務局から提案説明があり、採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。
- ・ 議第 2 号、議第 3 号
議第 2 号、議第 3 号については、関連があるため、事務局から一括で提案説明があり、採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。
- ・ 議第 4 号
議第 4 号について、事務局から提案説明があり、採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。

(6) 議案審議終了後、次の事項について事務局より報告があった。

- ・ 「国の新型コロナウイルス感染症対策」に伴う本会の対応等について
- ・ オンライン資格確認について
- ・ 国保総合システムの機器更改について

・閉会

この議事録が正確であることを証するため、署名する。

令和2年12月25日

議 長 久 保 眞 一

議事録署名理事 辻 一 幸

議事録署名理事 渡 辺 喜久男